（小６４）鹿児島市立福平小学校

令和４年８月９日

令和４年度　学校評価　自己評価書（１学期）

１　学校の重点目標

○　学びに向かう力を高める授業の推進及び“活用する力”を支える基礎学力の確実な定着を図る。

○　互いの「よさ」を認め合い，一人一人が大切にされ，自己肯定感が伸長される教育活動の推進。思慮深さを育てる“くつそろえ”・呼名後の返事。

○　高い安全意識とたくましく生きるための健康や体力を育む教育活動の推進。むし歯治療率 80%以上。

２　課題と改善策

	評価項目	職員	評価結果と改善方法
学校組織力及び資質向上	１　学校教育目標の具現化 ２　校務分掌の遂行 ３　専門性を高める研修 ４　各種便り HP での情報発信 ５　服務規律の遵守 ６　業務改善	3.1 3.4 2.7 3.1 3.7 3.0	・　ロイロノートやシンキングツールを活用しながら，計画的で充実した校内テーマ研修を進めることができた。 ・　学年間でワークシートや宅習プリント等を共有し，さらに業務改善の実践を図る。
豊かな心の育成	１　「聴き方名人」としての傾聴 ２　あいさつの率先垂範 ３　楽しい学校づくり ４　ボランティア・JRC の推進 ５　清掃活動	2.9 3.2 3.0 2.6 3.3	・　進んであいさつのできる子供の育成のために職員が進んであいさつをするように努めている。 ・　学級経営を基盤とし，学年会・心に届く生徒指導委員会における確実な情報共有・共通理解を図る。 ・　思いやり，奉仕の心を育てるボランティア活動を推進する。
学力向上	１　達成目標の設定と子どもが満足する学習指導 ２　学習のめあて・まとめの板書 ３　互いに説明する活動の設定 ４　一人学びと発表で思考力・判断力・表現力 ５　ドリルの徹底 ６　ICT 活用、プログラミング教育の開発 ７　主体的な家庭学習	3.0 3.2 2.6 2.8 2.8 2.5 2.8	・　「主体的・対話的で深い学び」にするためにロイロノートのシンキングツールを「授業のどこで使えば効果的になるか」への取組みを推進する。 ・　基礎学力の定着と知識・技能や思考力・判断力，学びに向かう力，人間性を育む子供に力をつける授業づくりを推進する。
体力向上・健康・安心・安全	１　規則正しい生活 ２　なわとびを中心とした体力づくり ３　感染症対策の徹底 ４　下校指導や安全指導での危険回避 ５　スマホ・タブレット・ゲームのルール作りの啓発	2.8 2.2 3.3 2.7 2.7	・　登下校時の問題行動が多かったので，安全意識，危険予知・回避能力を高める安全指導を徹底していく。 ・　感染症対策，朝活動や昼休みカット等の特別校時で下校時刻が早まり，家庭でのスマホやゲーム時間が増えた。

３　次学期に向けての取組

○　学習の定着を図るために，全国学テや NRT の課題分析・解決をチームで行う。

○　全職員の共通理解による「当たり前のことが当たり前にできる」指導を推進する。「聴き方名人あ・い・う・え・お」「くつそろえ」「返事」

○　登校しぶりや問題行動への早期の働きかけや組織的に適切な解決に向けて取り組む。